

# 血尿で当院を受診した患者の精査結果

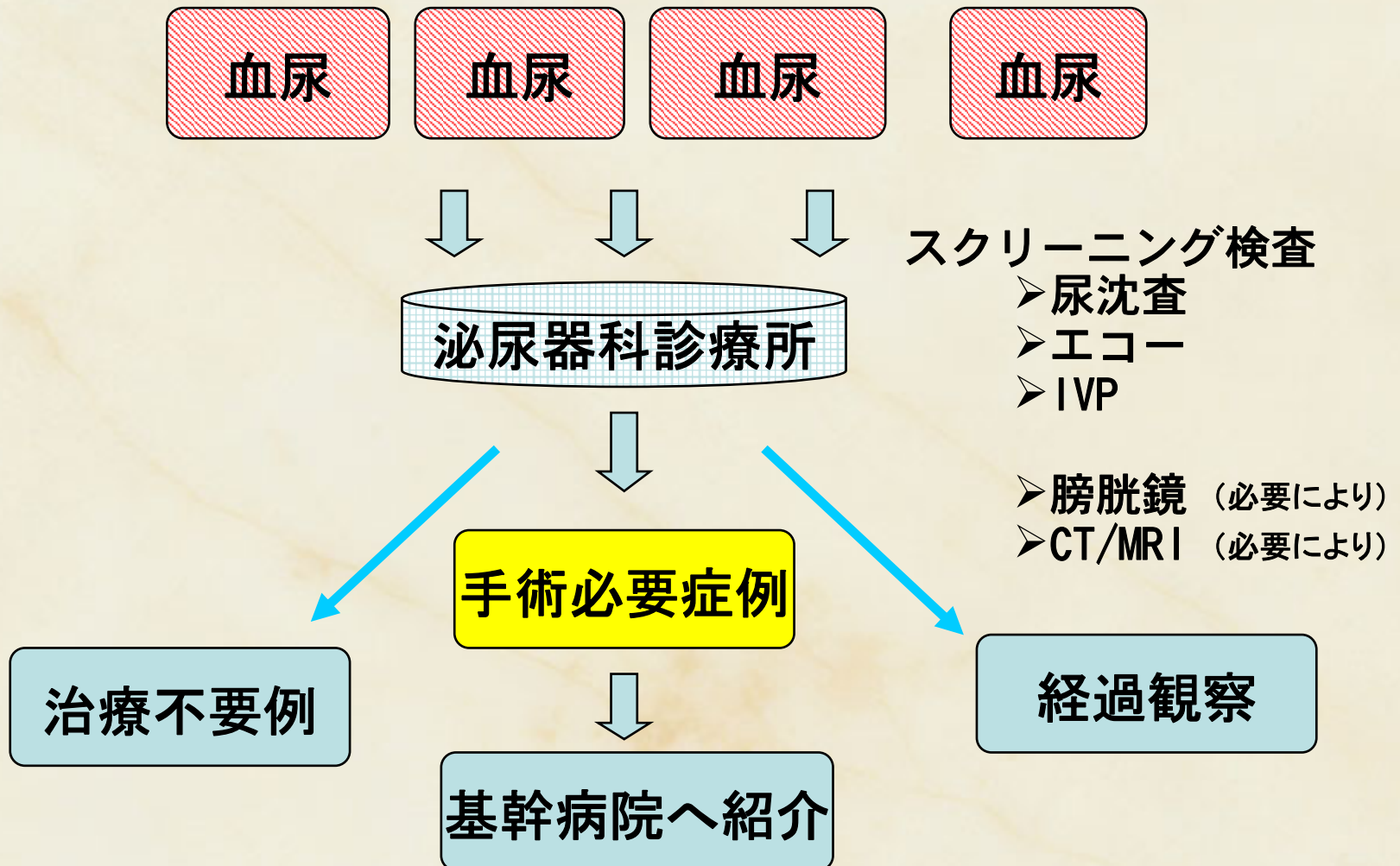
どのような検査を行いどのような病気が実際見つかったかをまとめてあります

当院を受診した約3000人の患者さんをうち血尿の患者さんを[血尿ガイドライン](#)に沿ってまとめた結果です。2006年第19回横浜泌尿器科セミナーシンポジウム「血尿とその予防」で発表した内容を一部改変してあります。

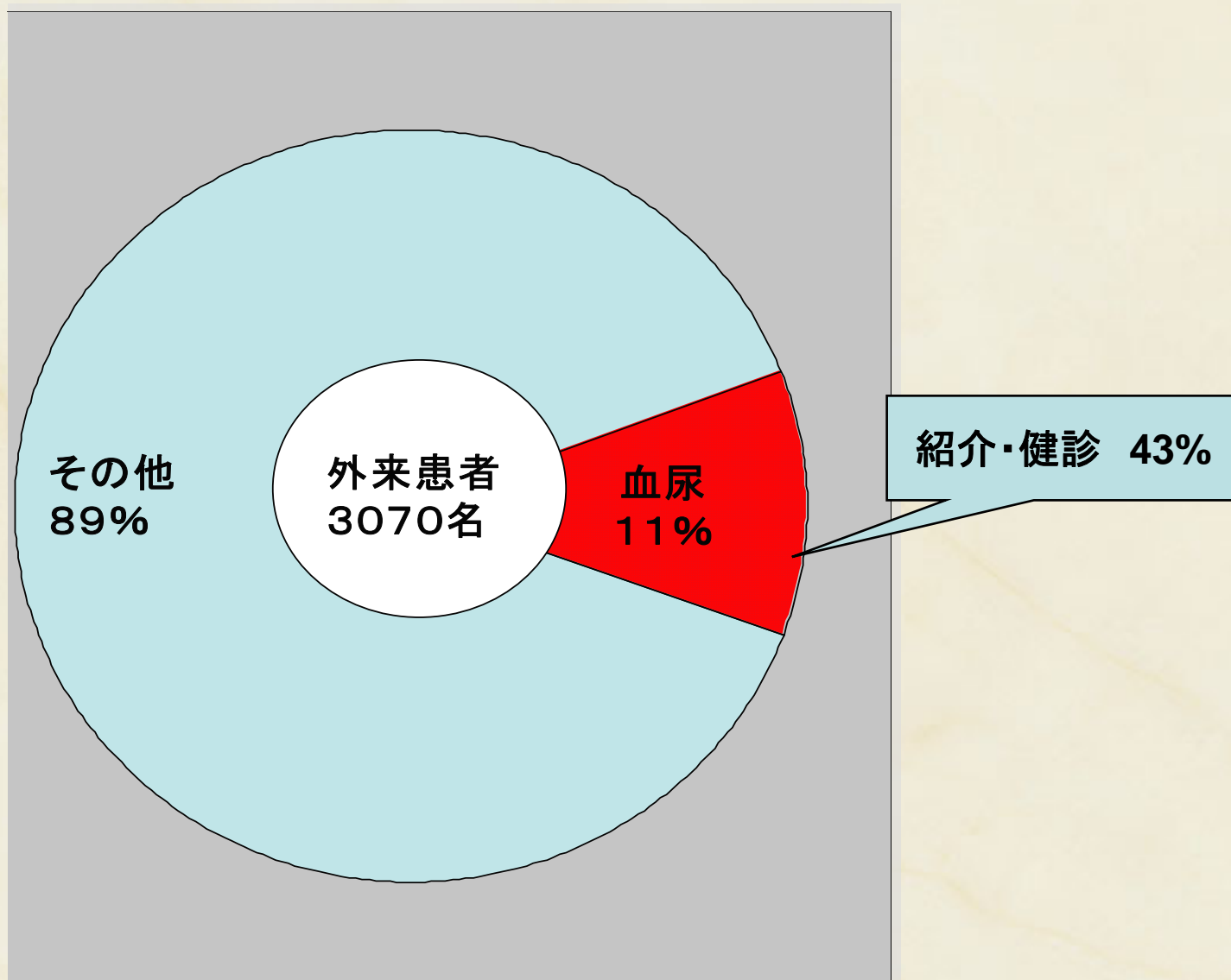
たけだ泌尿器科クリニック

武田光正

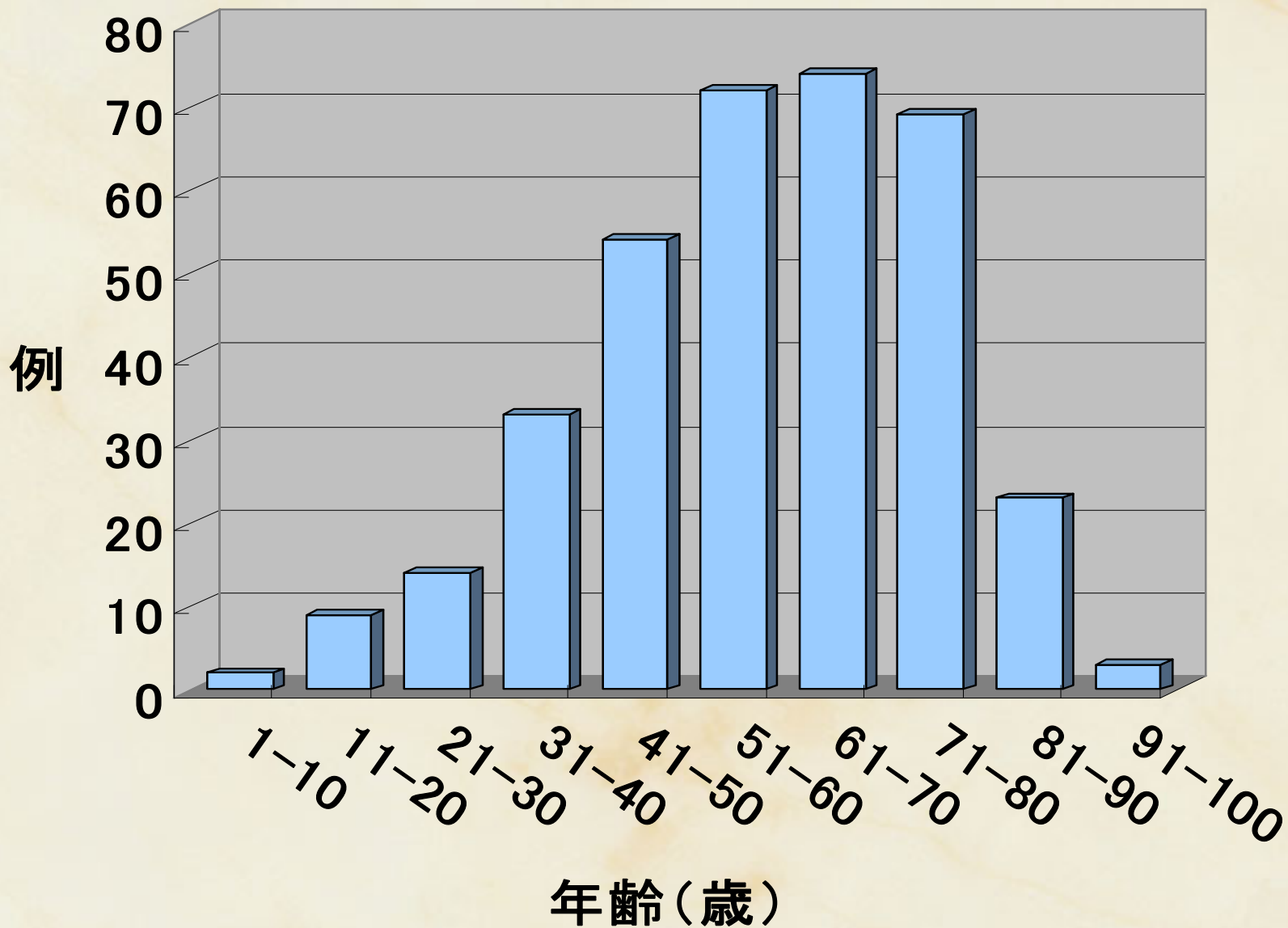
# 泌尿器科診療所での血尿患者のスクリーニング



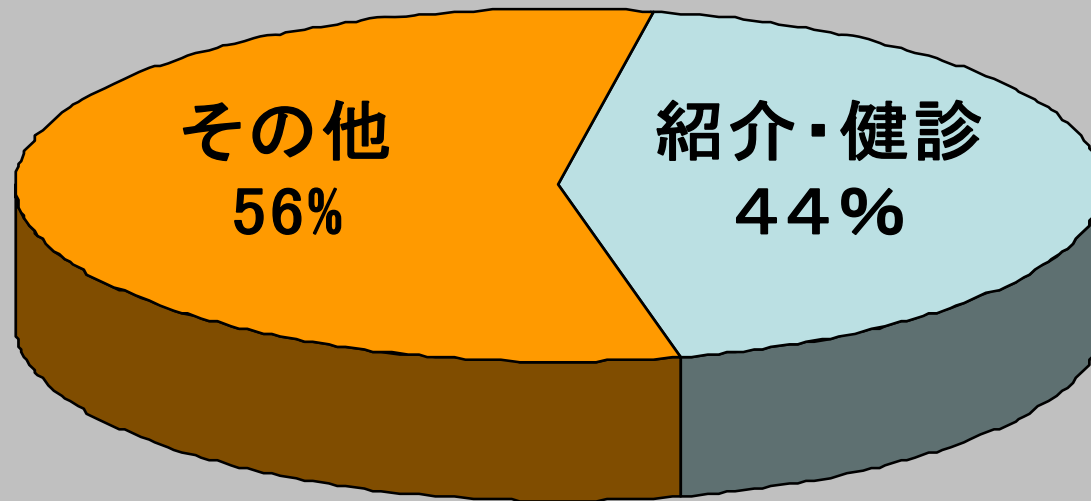
# 外来患者にしめる血尿患者



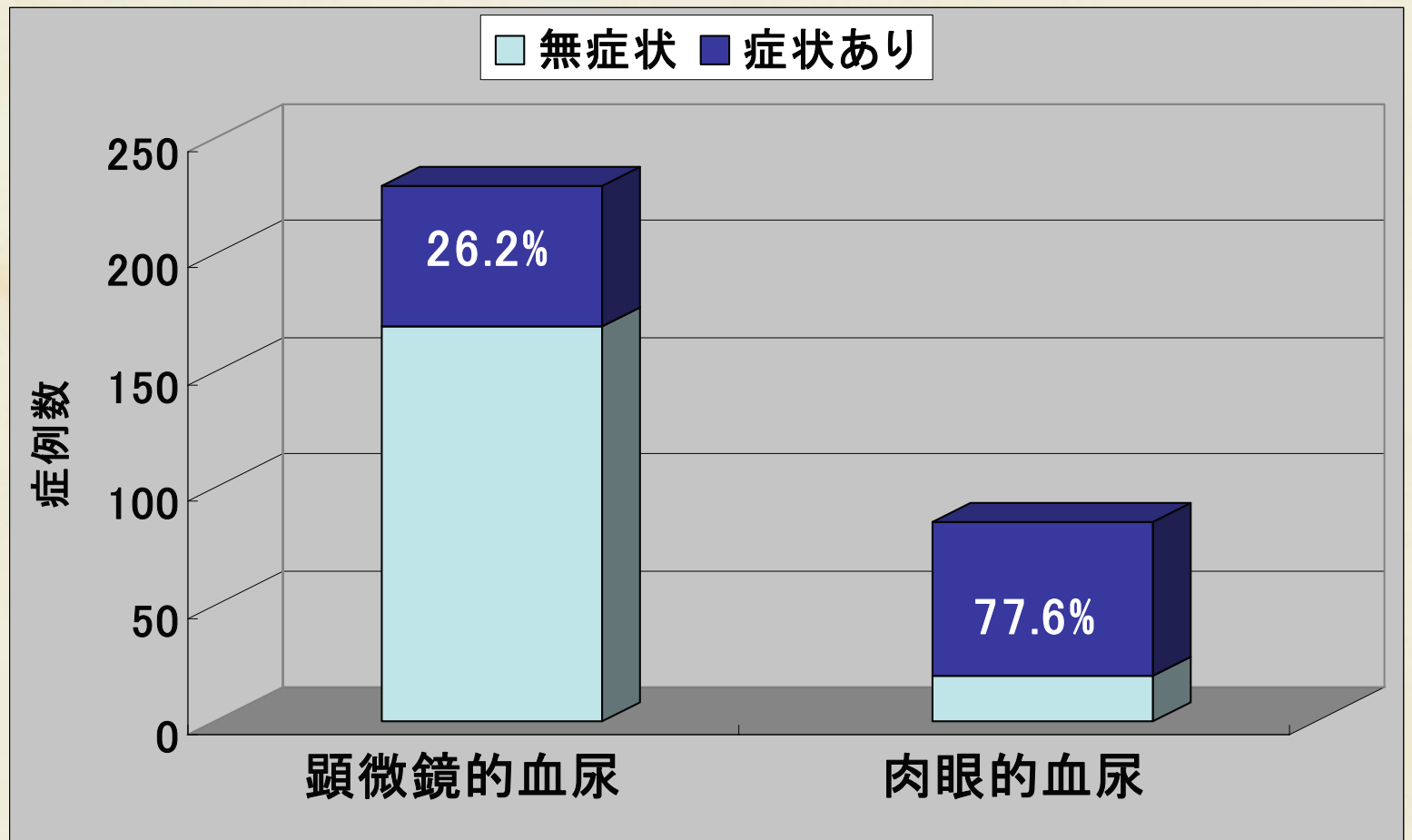
# 血尿患者の年齢分布



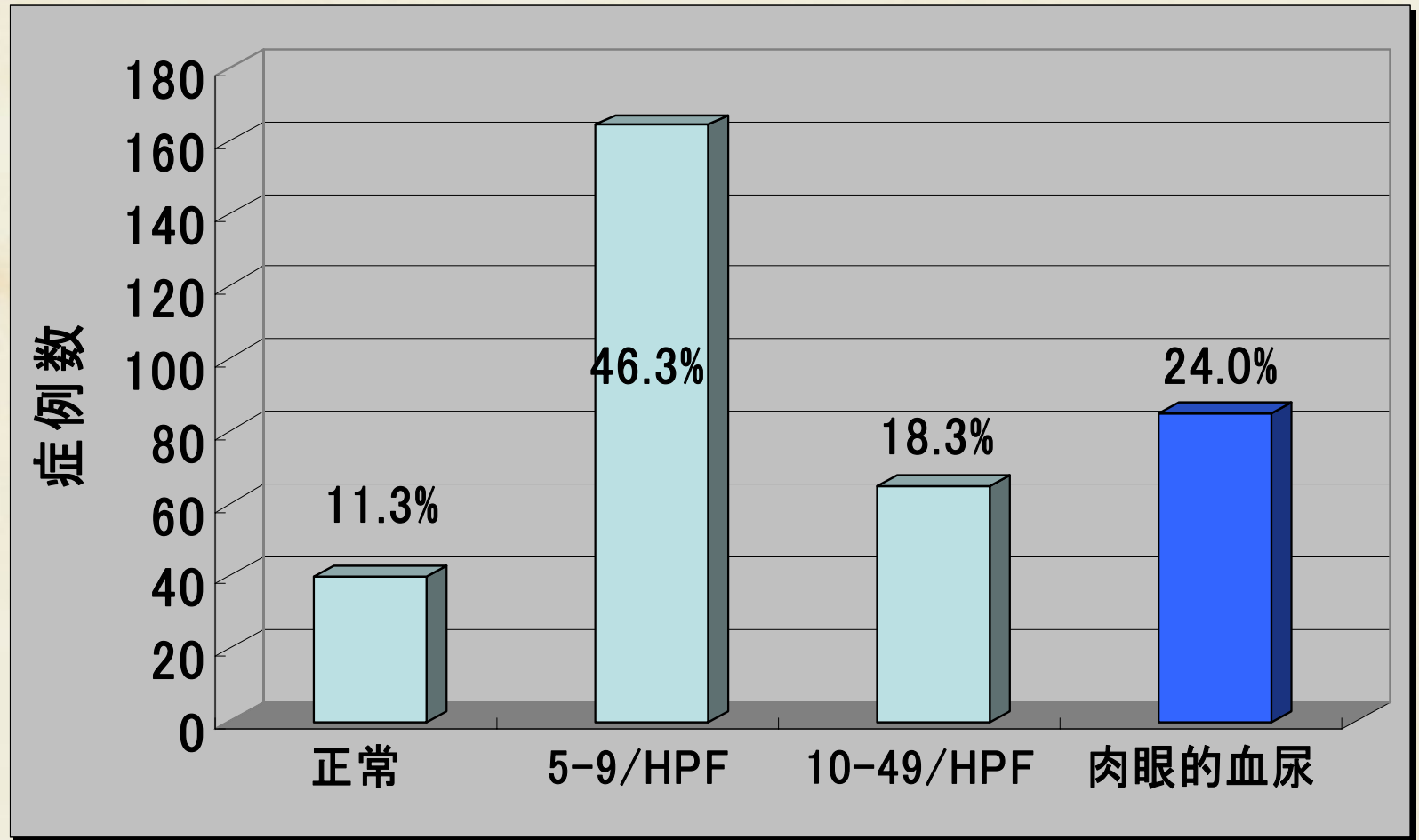
## 紹介・健診患者の割合



# 血尿の程度と症状の有無

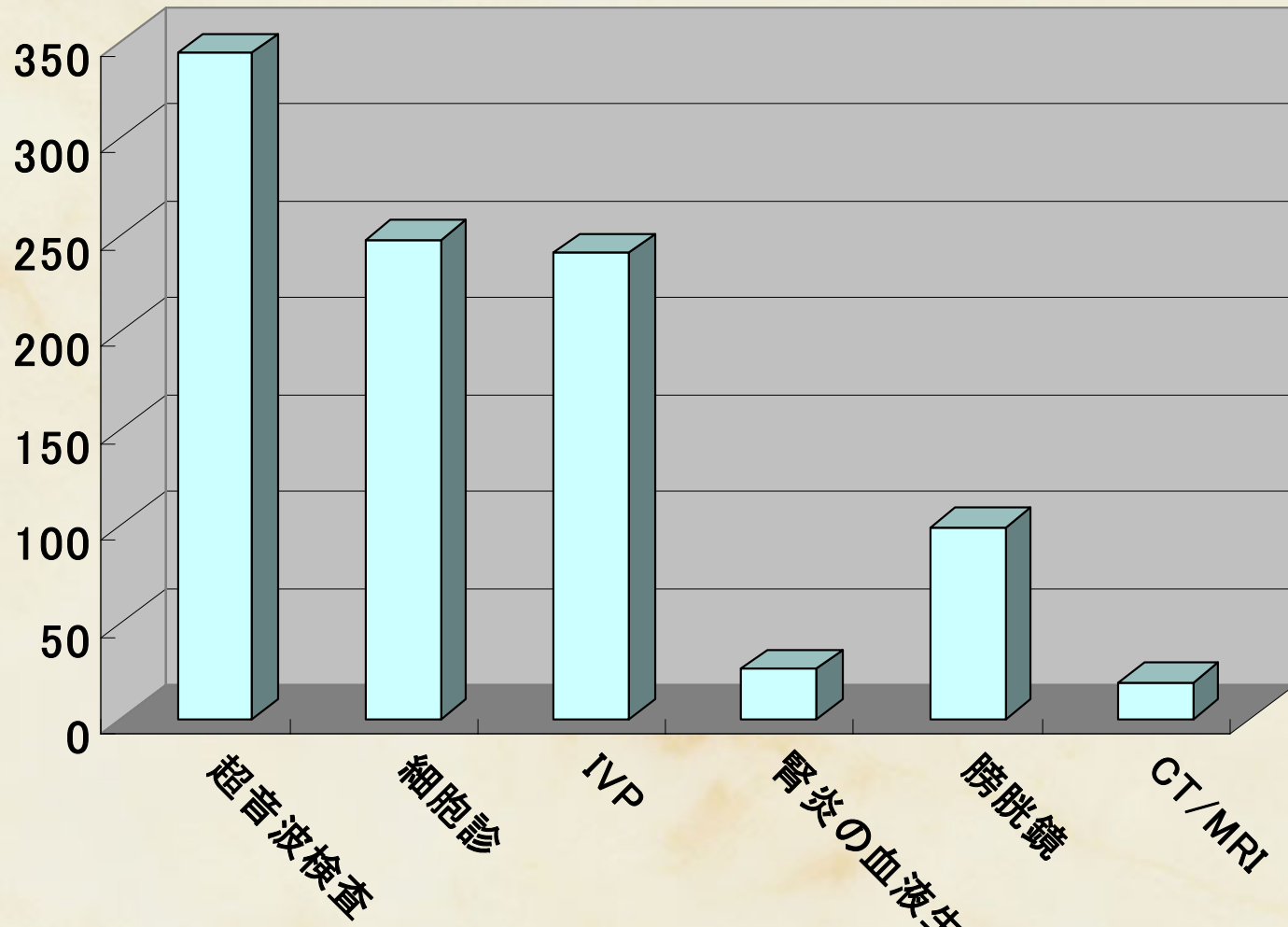


# 受診時血尿の程度



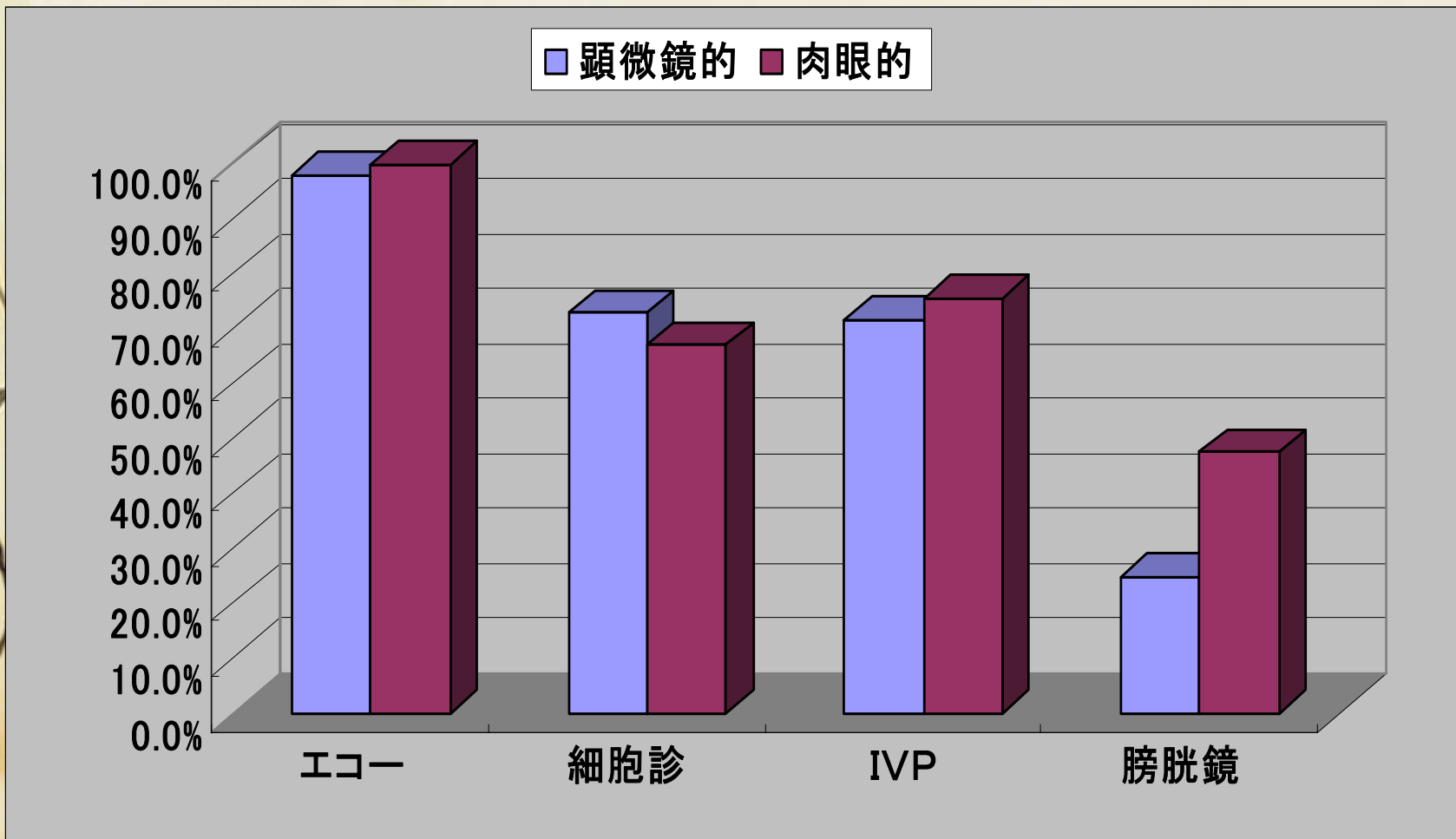


# 検査施行症例数

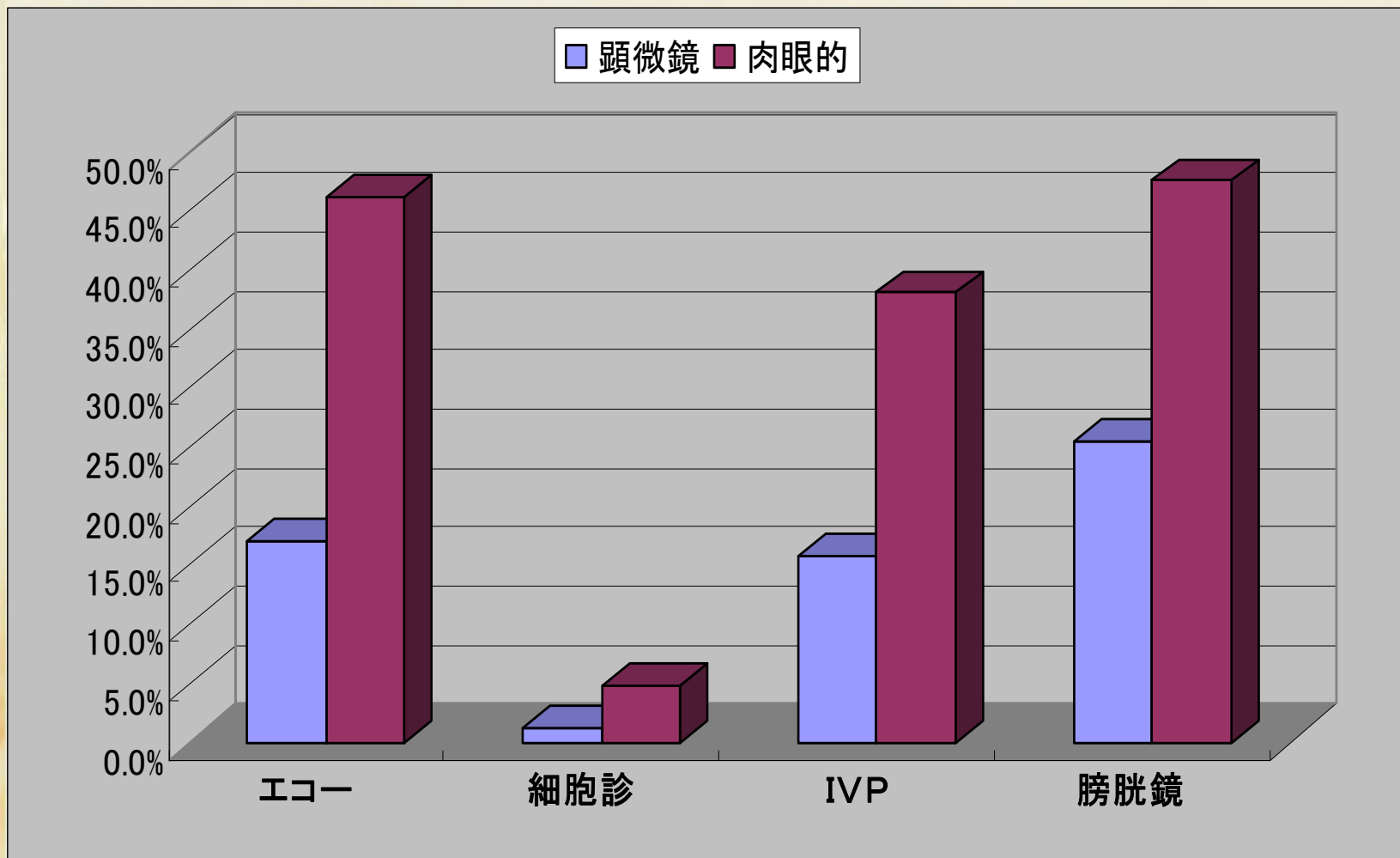




# 血尿精査のため行った検査 血尿の程度別



# 血尿の程度別検査陽性率





# 腫瘍性疾患の内訳

症例数 (%)

	膀胱 癌	尿管腫 瘍・癌	前立腺 癌	腎癌	腎良性 腫瘍	計 (%)
肉眼的 血尿 80例	14	1	1	1	0	17 (21.3%)
顕微鏡 的血尿 256例	4	2	0	0	1	7 (2.7%)
計 336例	18	3	1	1	1	24 (7.1%)

## 非腫瘍性疾患と血尿の程度

	0-4/HPF	5-9/HPF	10-49/HPF	肉眼的血尿	計
上部尿路結石	0	16	15	27	58
下部尿路結石	0	1	1	1	3
前立腺肥大症	4	12	11	4	31
尿路感染症	2	8	9	12	28
膀胱頸部ポリープ	0	7	1	2	10
カルンクル	0	10	0	0	10
濾胞性膀胱炎	0	6	0	0	6



# 尿管結石

- 31歳男性、左側腹部の痛み、肉眼的血尿
- 腎エコーで左水腎症（尿が腎臓にうっ滞して尿管に流れていかない）
- KUB(造影剤を使わないX線写真)で矢印部に淡い結石様陰影を認める
- IVP（腎臓の造影剤による検査）で左尿管下端に9x4mmの結石を確認
- 体外衝撃波結石破碎術（ESWL）をおこない結石は消失、水腎症も改善

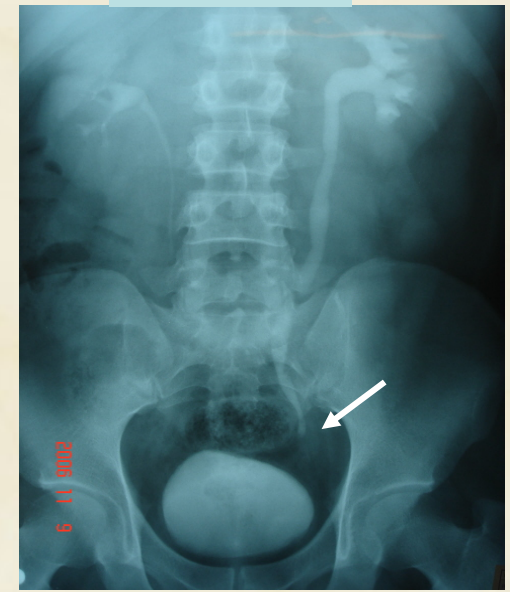
腎エコー



KUB



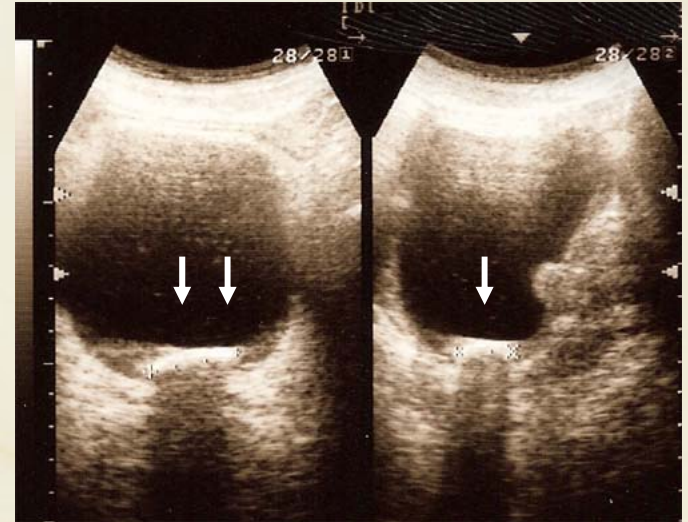
IVP



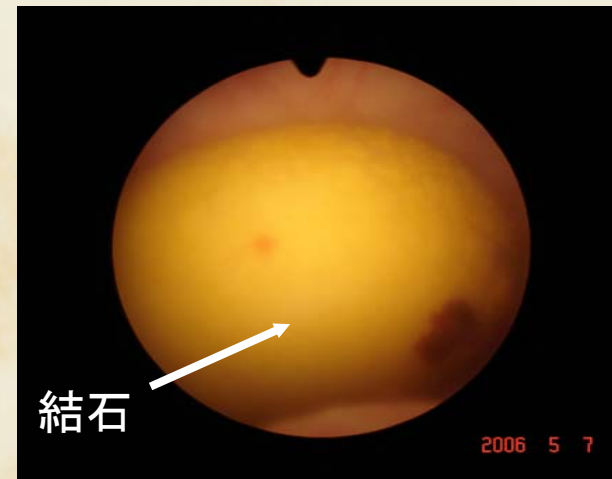
# 膀胱結石

- 65歳男性
- 無症候性の肉眼的血尿
- エコーで膀胱内結石陰影
- 膀胱鏡にて結石確認、11x9mm
- 経尿道的に結石破碎 (TUL)

エコー



膀胱鏡



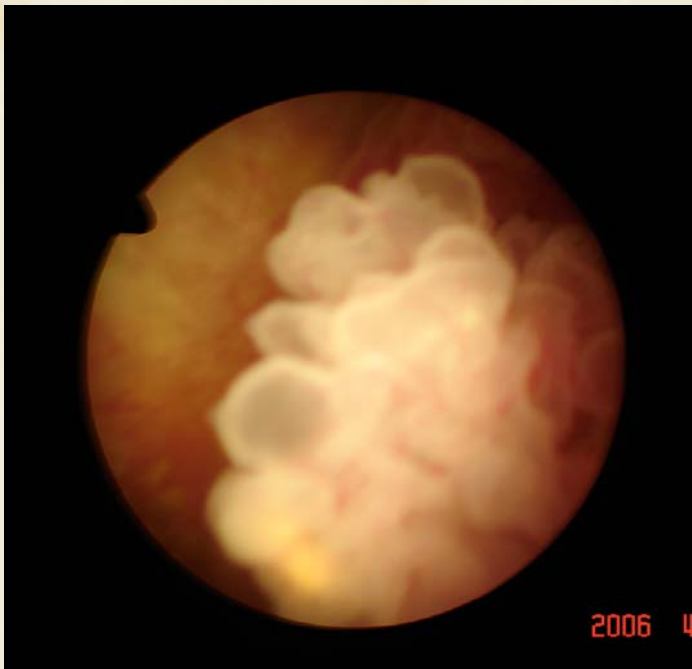


# 膀胱癌

- 94歳、男性
- 顕微鏡的血尿
- 細胞診 Class III
- エコー: 1.8x1.4cmの腫瘍

IVP

## 膀胱鏡

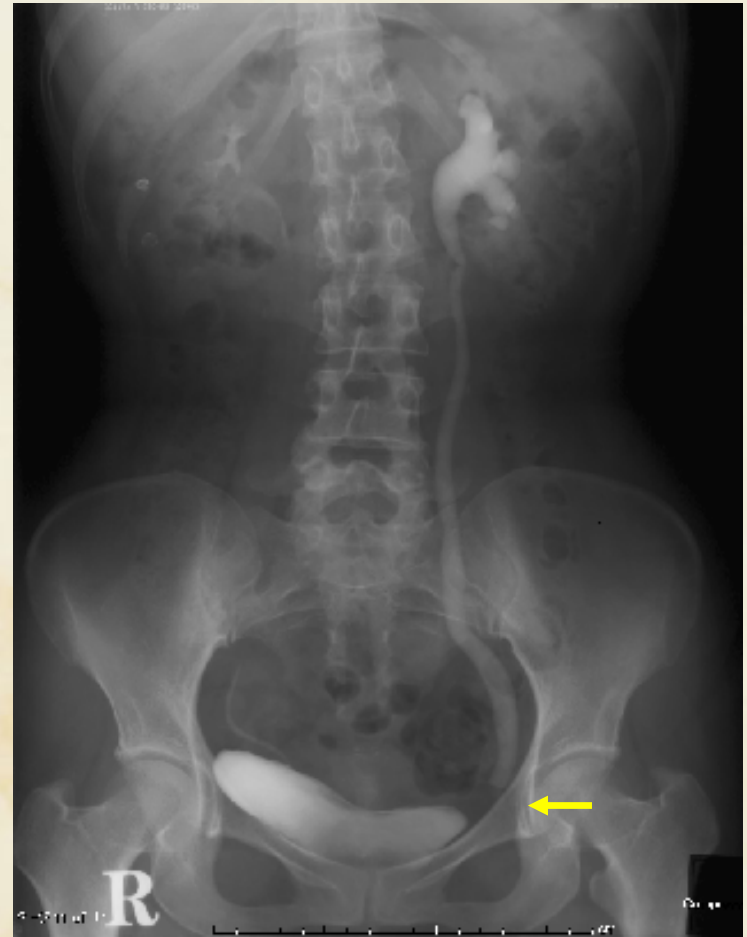


# 左尿管癌

58歲、女性

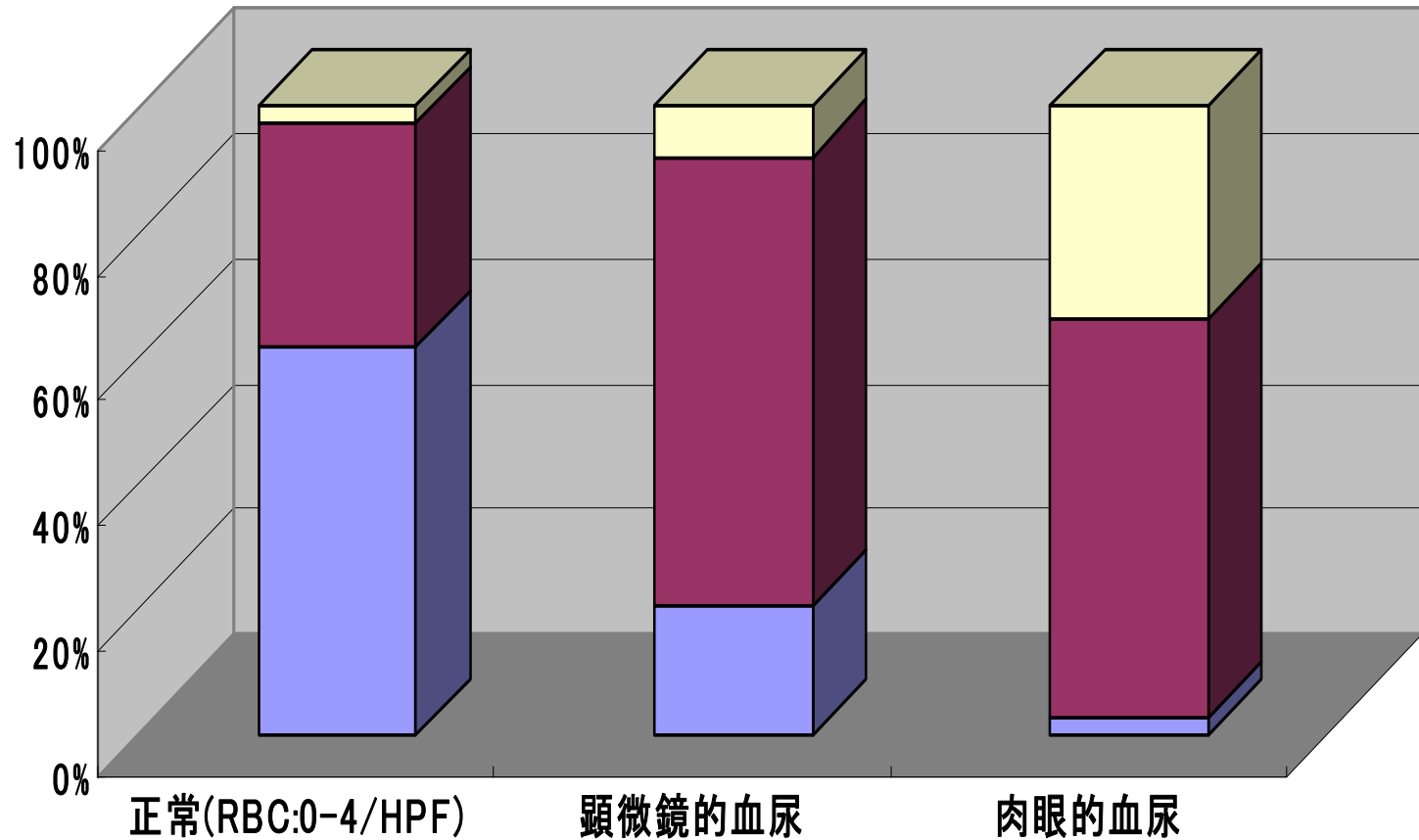
顯微鏡的血尿

尿細胞診 Class II

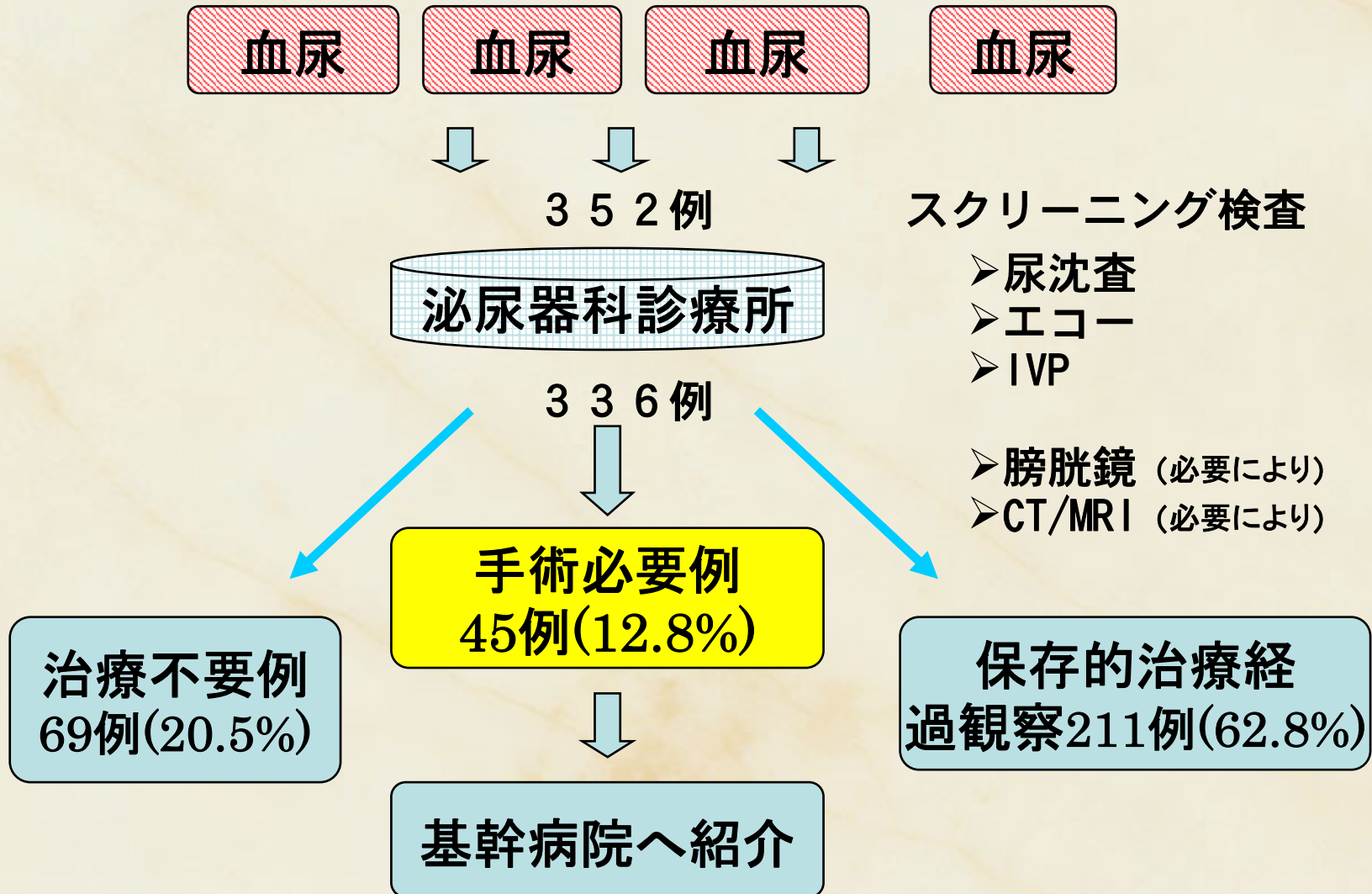


# 血尿の結果と診断結果

■ 治療を要しない ■ 保存的治療・観察を要する ■ 生命を脅かすか手術を要する



# 当院での血尿患者スクリーニング結果





# 泌尿器科専門医での精密検査が必要な血尿

- 血尿患者のうち治療・観察不要例は20.5%であったが、12.8%は手術等の治療を必要とした
- そのうち尿路腫瘍は7.1%にみられ、特に肉眼的血尿では21.3%と高率に腫瘍が見つかっている。顕微鏡的血尿でも2.7%にみられた。
- 従って肉眼的血尿は1回でも必ず精密検査が必要
- 尿潜血はあくまでも簡易検査で必ず顕微鏡による尿沈査をおこない赤血球5個以上の場合は泌尿器科専門医の受診をすすめる
- 頻尿や難治性尿路感染（膀胱炎を繰り返す）を伴う症例
- 尿細胞診でClassⅢ以上がでる場合